

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●JRA競馬学校騎手課程の生徒6名が新規騎手免許試験に合格

2023年(令和5年)度の新規騎手免許試験合格者が発表されました。いずれもJRA競馬学校騎手課程を卒業する石田拓郎(美浦・新開幸一厩舎)、河原田菜々(栗東・渡辺薫彦厩舎)、小林勝太(美浦・小野次郎厩舎)、小林美駒(美浦・鈴木伸尋厩舎)、佐藤翔馬(美浦・小松山悟厩舎)、田口貴太(栗東・大橋勇樹厩舎)の6名で、3月にJRAの騎手としてデビューする予定です。

●JRAホームページで全レース無料のライブ配信を実施

3月25日(土)以降、JRAホームページでは、JRAで行われる全てのレース動画がライブ配信されます。パドックなどレース以外の動画・情報は配信されませんが、会員登録不要・利用料無料で、スマートフォン、タブレット、パソコンなどで視聴することが可能です。同サービスの開始にさきがけて、2月25日(土)から配信テストが実施されることとなりました。対象となるレースの「出馬表」および「オッズ」ページに表示される「レースライブ」ボタンから視聴できます。なお一般的なライブ配信と同様、数十秒の遅延がある見込みです。

●アカイトらの競走馬登録抹消

2021年エリザベス女王杯(GⅠ)の勝ち馬アカイト(牝6歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算27戦5勝)、2020年毎日放送賞スワンS(GⅡ)などの勝ち馬カツジ(牡8歳/栗東・池添兼雄厩舎/JRA通算27戦3勝・地方1戦0勝)、2020年関西テレビ放送賞ローズS(GⅡ)などの勝ち馬リアアメリカ(牝6歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算17戦3勝)、2020年フラワーC(GⅢ)の勝ち馬アブレイズ(牝6歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算18戦3勝)、2021年シルクロードS(GⅢ)の勝ち馬シヴァージ(牡8歳/栗東・野中賢二厩舎/JRA通算27戦6勝)、2020年エプソムC(GⅢ)の勝ち馬ダイワキヤグニー(騏9歳/美浦・菊沢隆徳厩舎/JRA通算37戦8勝)、2019年京阪杯(GⅢ)の勝ち馬ライトオンキュー(牡8歳/栗東・昆貢厩舎/JRA通算24戦6勝)は、1月18日(水)までに競走馬登録を抹消されました。アカイトは北海道新ひだか町の株式会社サンデーヒルズ、リアアメリカは北海道安平町のノーザンファーム、アブレイズは北海道新冠町の株式会社ノースヒルズで繁殖馬となり、ダイワキヤグニーは馬事公苑で乗馬となる予定。シヴァージは地方・兵庫競馬に移籍し、カツジとライトオンキューは乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ゴールドジュニアは兵庫のニシケンボブ【各地の主要3歳重賞】

ゴールドジュニア(2月9日、笠松、1600m)は、4番手から4コーナー手前で先頭に立った北海道から兵庫への移籍馬ニシケンボブ(牡、父アジアエクスプレス)が後続を4馬身引き離し、単勝1.2倍の支持に応えています。花吹雪賞(1月22日、佐賀、1800m、牝馬)は、道中後ろから3頭目という位置から追い上げた4番人気の北海道からの転入馬エイシンレミー(父エーシンモアオーバー)が2周目4コーナーで抜け出し、5馬身差の圧勝を収めました。兵庫クイーンセレクション(1月26日、姫路、1400m、牝馬)は、先手を取った1番人気の北海道からの転入馬サラキャサリン(父エスポワールシチー)が3馬身差で完勝。ユングフラウ賞(2月15日、浦和、1400m、牝馬)は、中国から差を詰めた1番人気のサーフズアップ(父ドレフォン)がゴール寸前で差し切っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 C.F.オーアス～ジャックノウが繰り上がりで優勝

現地2月11日にオーストラリア・ヴィクトリア州のラドブロークスパーク競馬場で行われたC.F.オーアス(3歳上、芝1400m)は、オーストラリアにおける今年最初のG1レース。逃げたジェントルマンロイが1位で入線しましたが、走行妨害で2着に降着となり、D.レーン騎手が騎乗したジャックノウ(牡3歳、父ルービック、M.ブライス&M.ケントJr.厩舎)が繰り上がりの優勝となりました。ジャックノウはこれで1月のG3マンフレッドS(芝1300m)に続く重賞連勝。G1は昨年9月のゴールデンローズS(芝1400m)以来となる2勝目です。

●G3 UAE2000ギニー～アメリカのトールボーイが制す

2月10日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたG3 UAE2000ギニー(3歳、ダート1600m)は、アメリカから遠征中のトールボーイ(牡3歳、父ルッキンアットラッキー、D.オニール厩舎)がW.ビュイック騎手を背に2番手から抜け出して優勝しました。トールボーイは昨年8月の初出走から未勝利戦を3度走って5着、2着、3着の後、12月の前走G2ロスアラミトスフェューチュリティも4着でしたが、他国の重賞で初勝利をあげました。